

駐車編



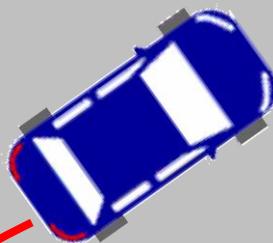
基本操作イメージ

見せる
イメージング

車両動作の大まかなイメージを掴みましょう

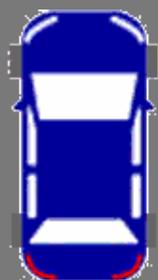


①左に回す



②真っ直ぐに戻す

③右に回しながらバックする



体験する

ハンドルセンターを確認しよう

タイヤが真っ直ぐかどうか、解らなくなってしまう。
そんな時に備え、事前にハンドルセンターの取り方をマスターしておきましょう。

トレーニング A 【限界値】

止まった状態でハンドルを回してみましよう。
概ね「1回転半」で限界点がやってきます。
限界点から「1回転半」戻せばタイヤは「真っ直ぐ」に戻ります。

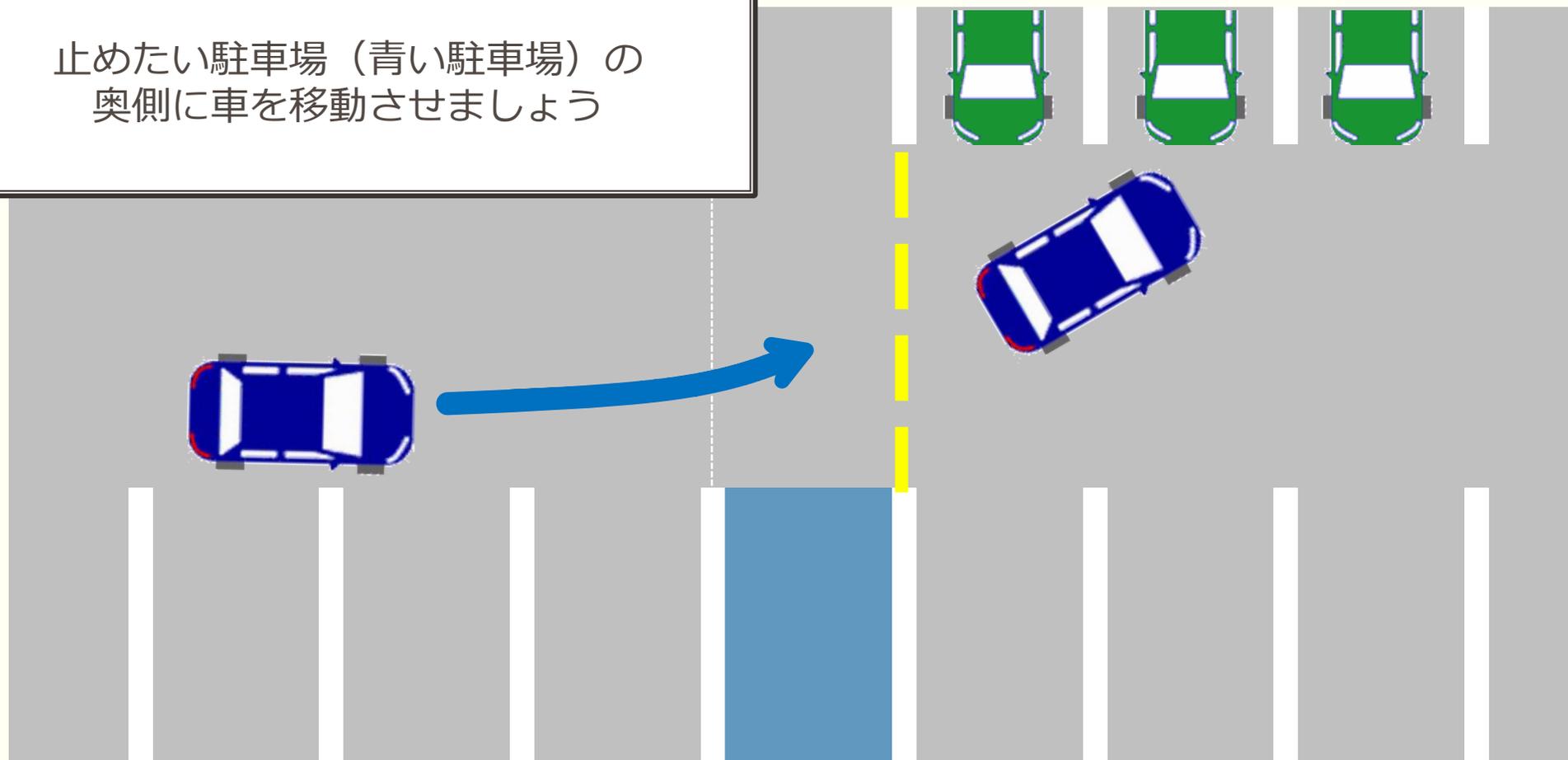
トレーニング B 【ハンドル先生】

ハンドルが曲がっている状態で前に進むと、ハンドル(=タイヤ)は真っ直ぐに戻ろうとします。ハンドルが戻った方向に「真っ直ぐ」があります。
困ったら少しだけ前を出て、ハンドルの戻る方向を確認してみましよう。

ポジション取りの考え方

見せる
説明する

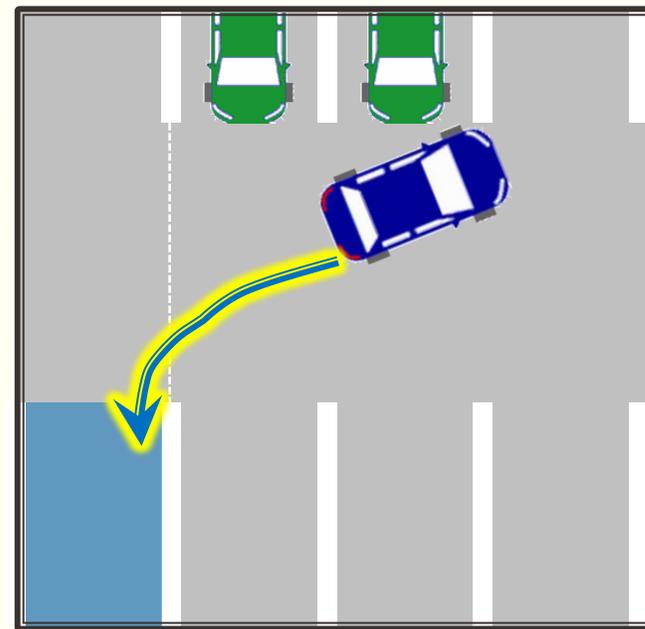
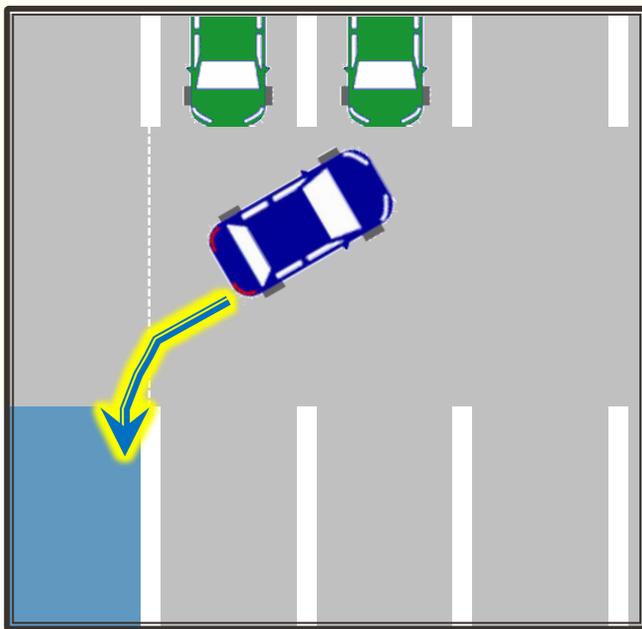
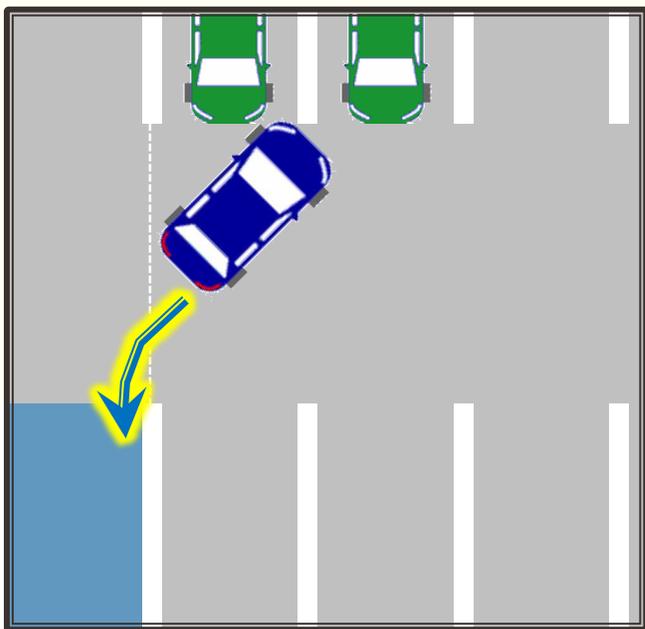
止めたい駐車場（青い駐車場）の
奥側に車を移動させましょう



ポジション取り

見せる
説明する

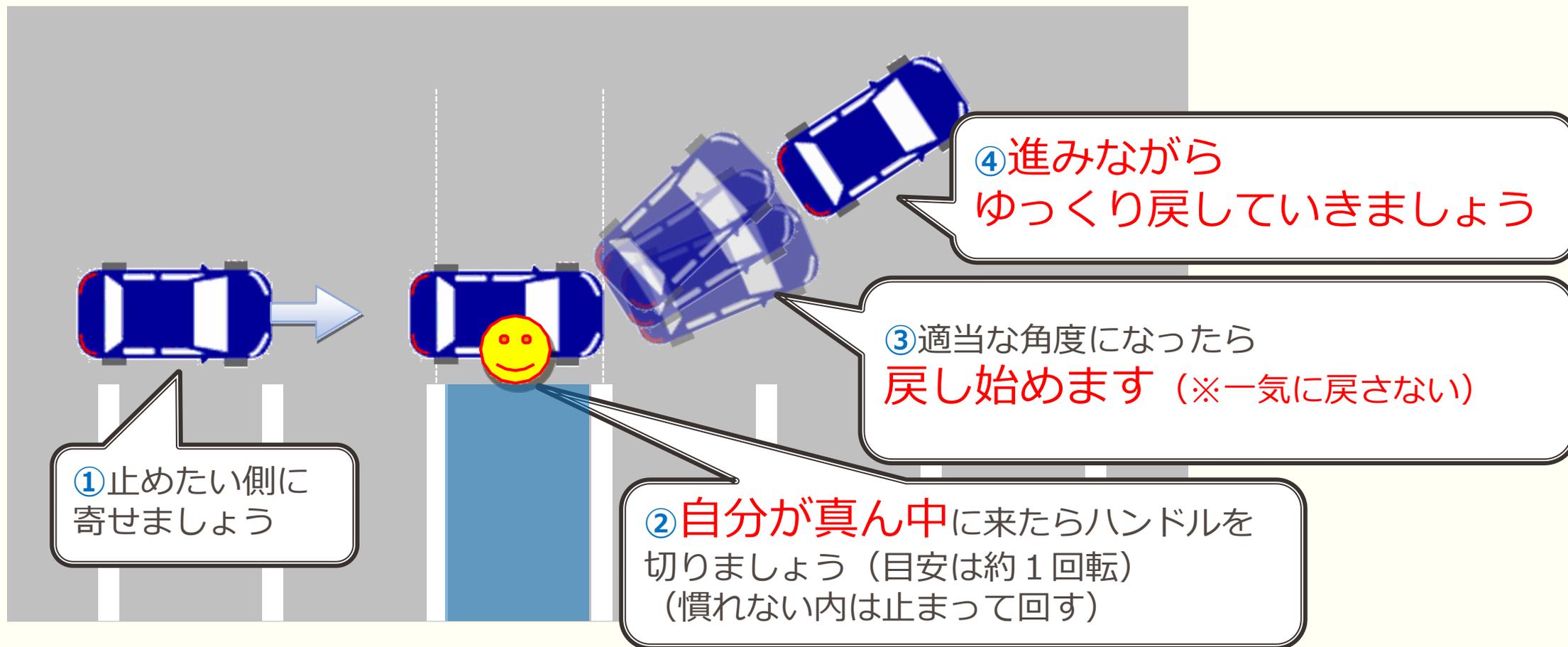
奥側にしっかりとポジションさえしていれば、多少乱れても入庫は可能です。



奥側に持っていく意識が重要です

ポジション取りの手順

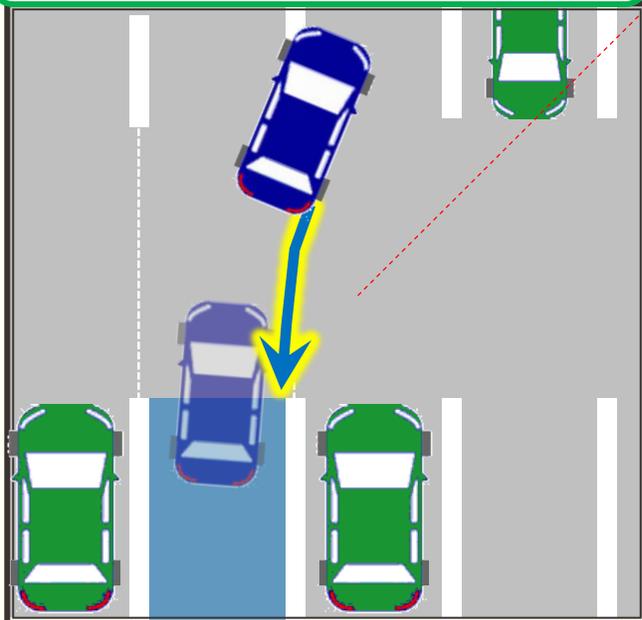
反復・実践
95%は出来る



理想の角度

適宜使用

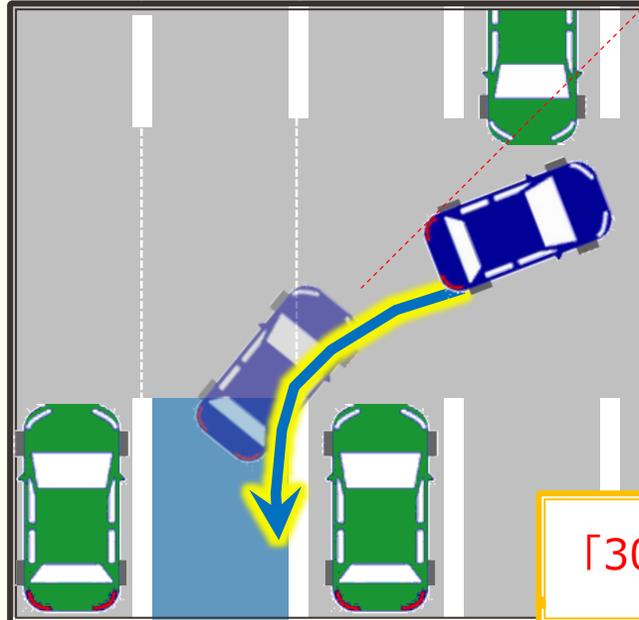
「簡単」×「環境が無い」



赤線=「45度」ライン

とても簡単に入庫出来ます。
しかし、この様なポジションを取れる駐車場は限定的であり、クセにはしてはいけません。

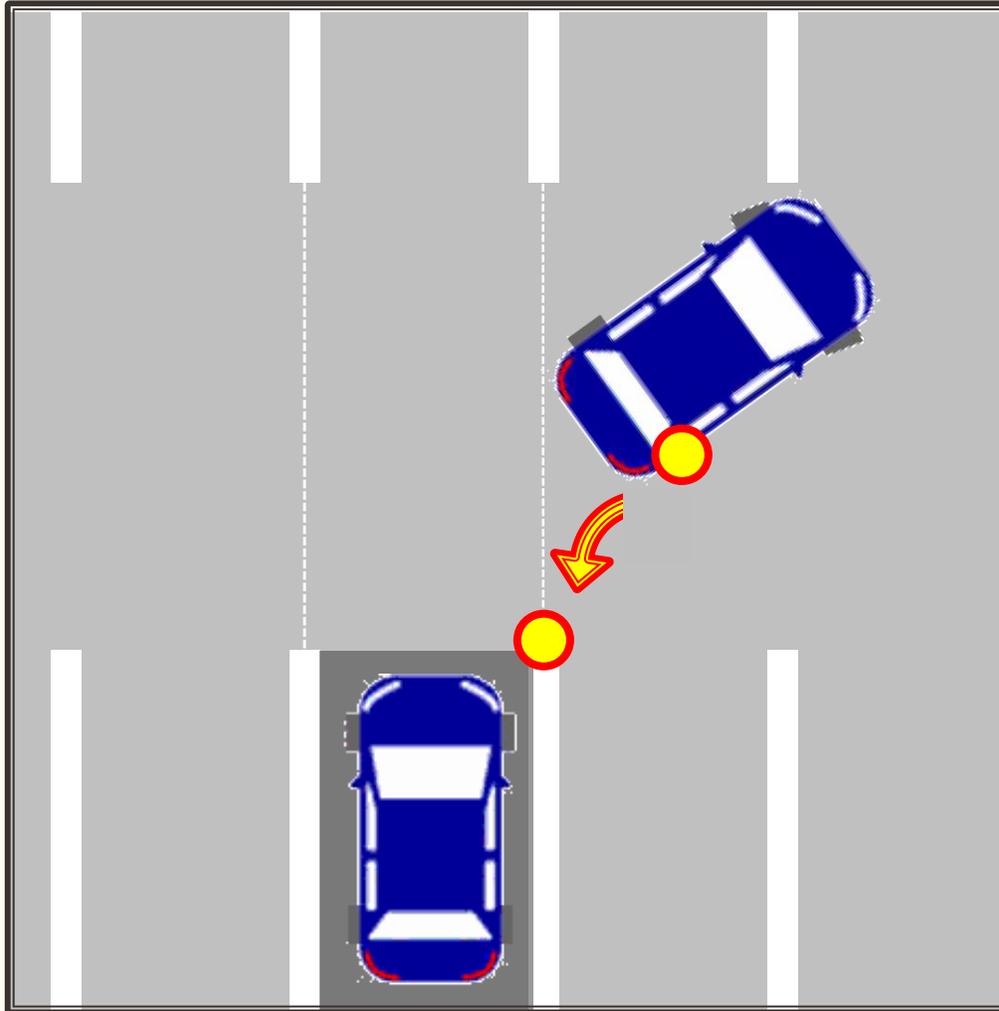
「難しい」×「基本のやり方」



赤線=「45度」ライン

「30~45度」が理想です

入庫は多少難しくなりますが、狭い駐車場で
も対応が可能となります。



【見る場所】

- ・ 右後ろを目視（窓を開けましょう）
- ・ 右のサイドミラー

【POINT】

「右後ろのタイヤ」と「白線の先端」を意識して下がってみましょう

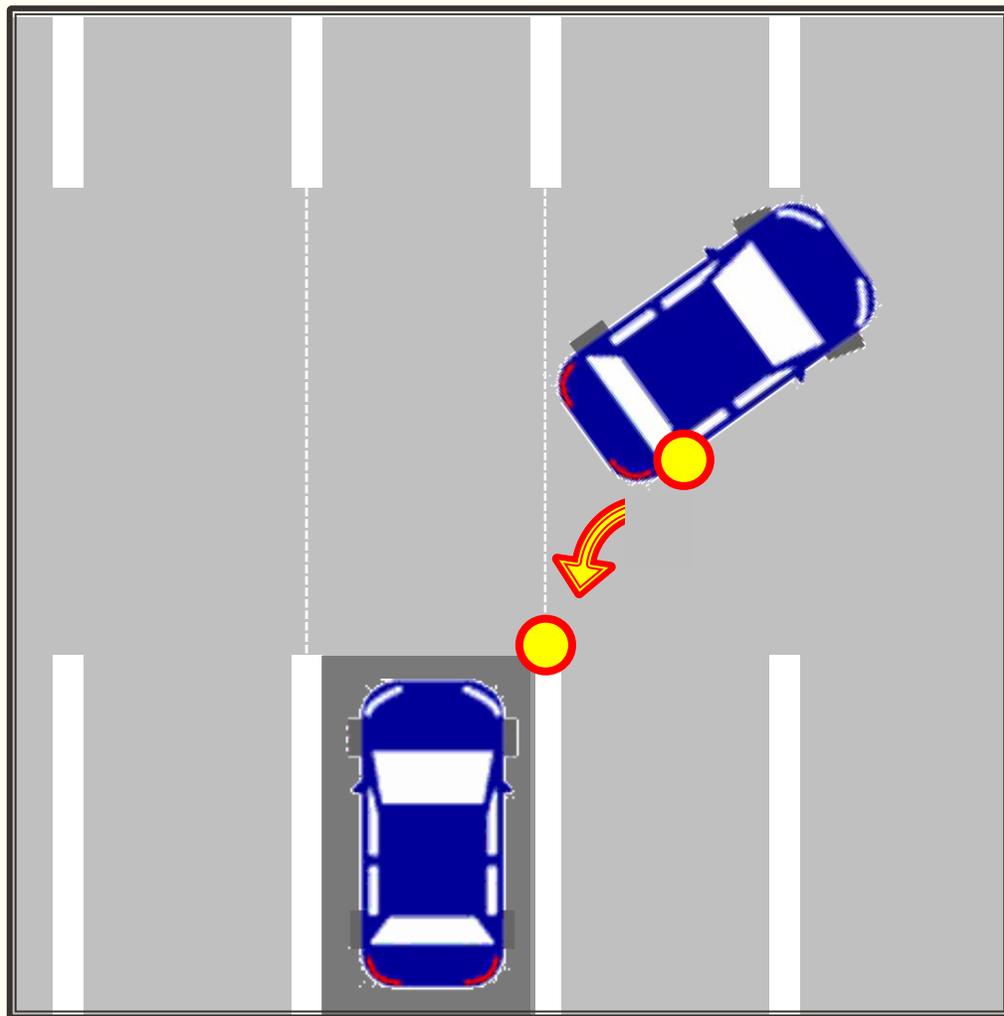
【POINT】

「白線」に対し「車体が平行」になったら「ハンドルをまっすぐ」に戻しましょう

最初は止まって戻しましょう
慣れたら動きながらにチャレンジです

入庫のポイント

根幹要素
根幹ワード



【成功の絶対条件】

ブレーキングコントロール

足元への意識が疎かになると必ず失敗します。

【意識ポイント】

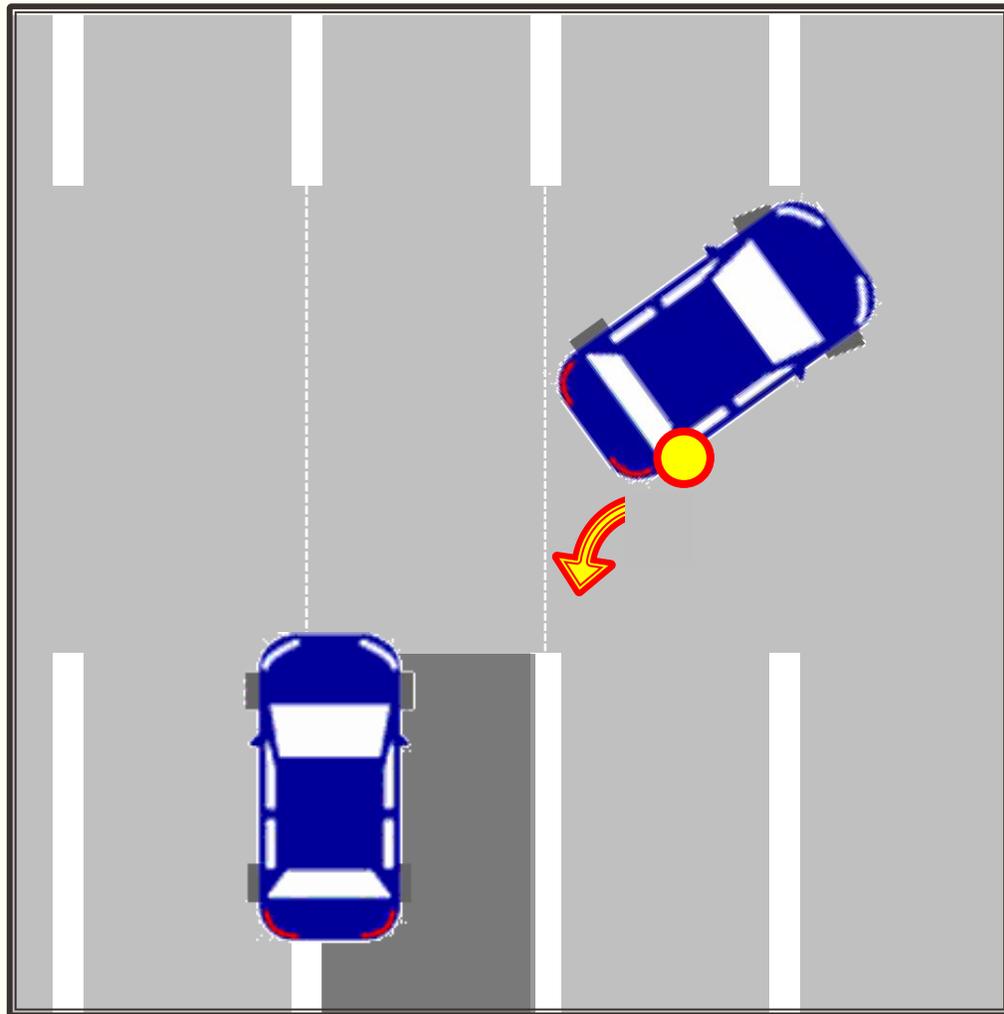
- ① 「スピード」は適切ですか？
- ② 「回し始めるタイミング」は適切ですか？
- ③ 「回す量」は適切ですか？

【根幹ワード】

「ゆっくり下がりながら」
「ゆっくり回しながら」

入庫の上達の秘訣

実行・評価・改善



【上達の秘訣】

ズレ幅を確かめる事が最大の秘訣です。

- ①ズレても図の様に深く下がってみましょう
- ②車を降りてズレ幅を確認してみます
- ③次回の改善に繋げましょう

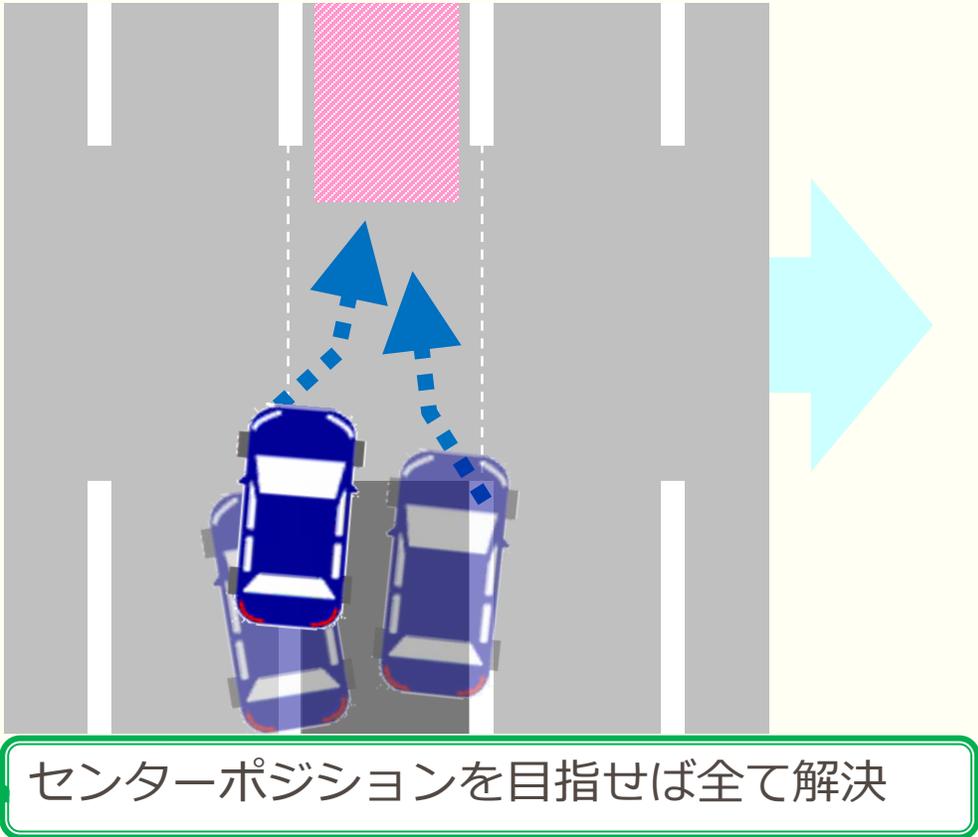
【POINT】

上手く感覚が掴めない時は、インストラクターの見本を参考にしましょう

センターポジション

見せる・説明する
実行・評価・改善

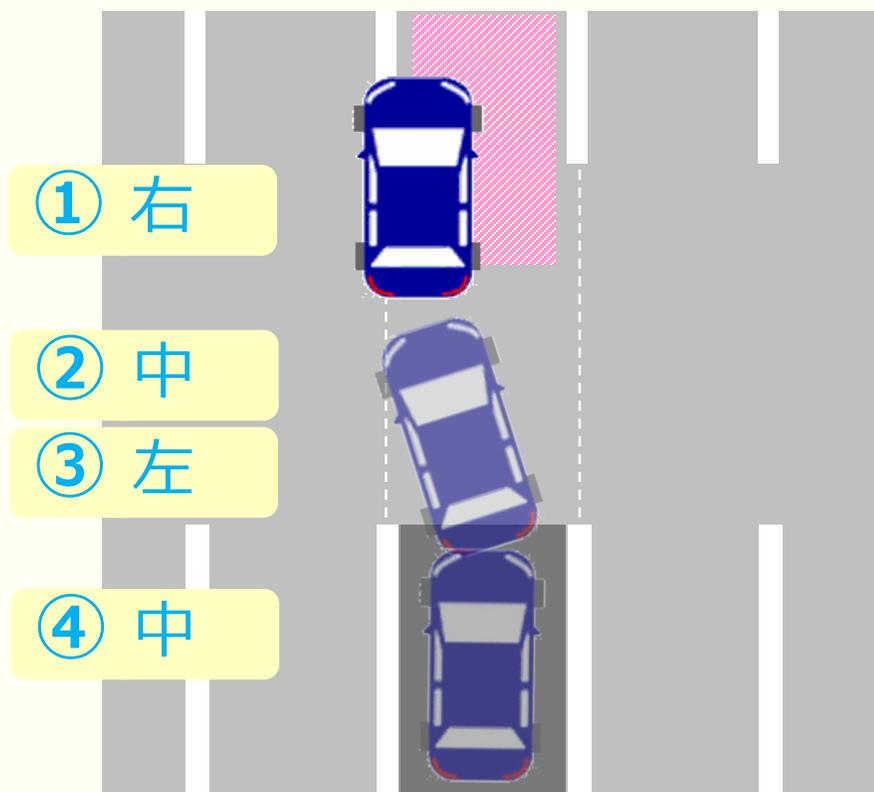
多少ズれても大丈夫！ 次の行動の考え方は全て同じです。
センターポジション（ピンクスペース）を目指しましょう！



縦列駐車 of 動きで最終調整を行きましょう

見せる・説明する
実行・評価・改善

少しずれてしまったら、まずは「自分の感覚」で「微調整」しながら下がってみよう。



【迷わないポイント】

「右に寄せたい」時は「右に回す」

【動きのイメージ】

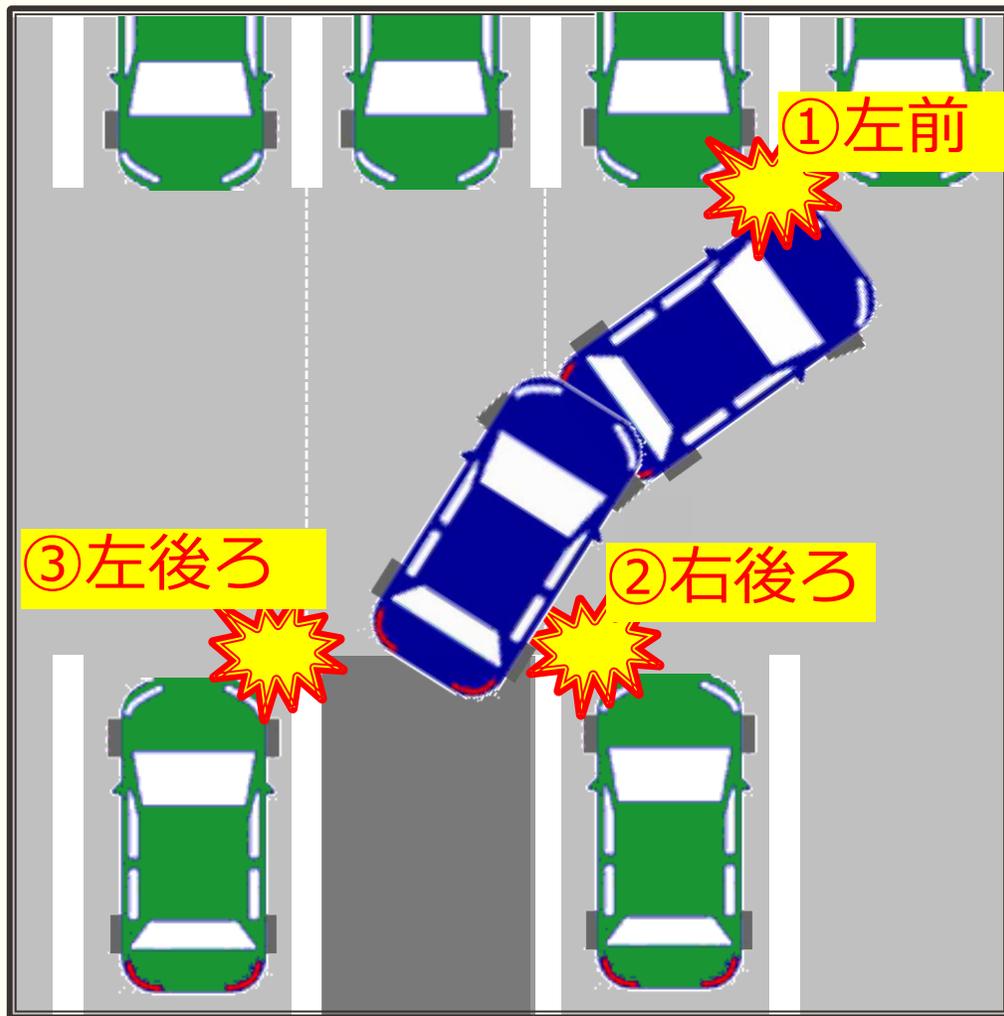
- ① 行きたい方にハンドルを回す
- ② 真っすぐに戻す
- ③ 逆ハンドル
- ④ 平行取り

【根幹ワード】

- ・ 「右」「まっすぐ」「左」「まっすぐ」
- ・ 「回し過ぎると必ず失敗します」
- ・ 「微調整、微調整、微調整」

車と車の間に入庫してみよう

適宜使用



安定してきたら、「車と車の間」にチャレンジしてみましょう。

【ぶつかる順番】

- ①左前
- ②右後ろ
- ③左後ろ

そのまま注意する順番。見る順番になります。

左バックにも挑戦しよう

適宜使用

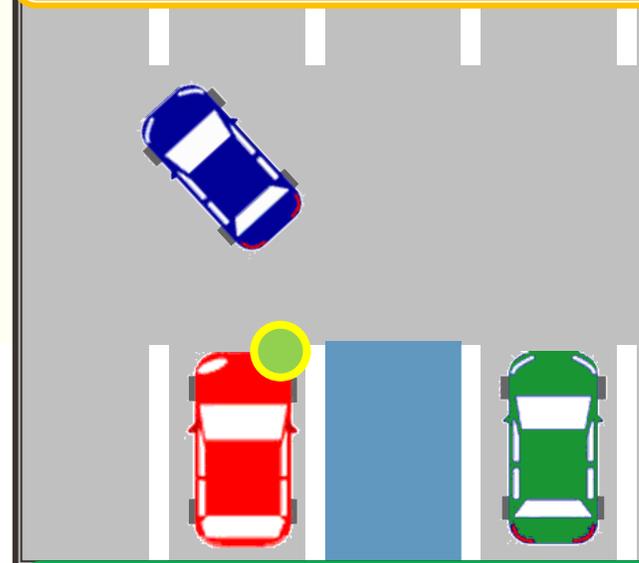
左バックは少し難しくなりますが、**方法論は同じ**です。
ポイントを掴んで同じ手順で挑戦してみましょう。

「目印がない」 白線見えない・難しい



多少ズレても当たりません。
「適当」に入庫してズレたら修正しましょう

「赤車が目印」 距離感は掴みやすい



正確に狙いましょう。「赤車」との「距離感」
を頼りに、ハンドルを回していきましょう。